

軍事費けずって、国民生活をまもろう！



原子力空母いらない！横須賀集会

憲法改悪許すな！オスプレイNO、爆音なくせ！原発ゼロ！戦争法廃止・市民と野党の共闘で政治を変えよう！

10月1日(日)午後3時開会 横須賀市・ヴェルニー公園



【原子炉2基を積む空母＝東京湾に浮かぶ原発】

在日米海軍横須賀基地は1973年10月に米空母ミッドウェーの「母港」とされ、2008年に原子力空母ジョージ・ワシントンの配備。2015年10月1日、原子力空母ロナルド・レーガンの交代配備。横須賀はベトナム戦争など米国の侵略と干渉の出撃拠点とされてきました。今年で50年、半世紀となります。さらに、来年24年後半には、現在の空母レーガンに代わって、新たに装備を強化した最新鋭艦となった空母ジョージ・ワシントンを再び横須賀に配備しようとしています。米国は横須賀を遠い将来まで母港とし、永久母港化を狙っています。これに日本政府は追従しています。米本国以外で米空母の母港としているのは、世界中で日本だけであり、横須賀だけです。

憲法の「専守防衛」を突き崩し戦争につながる「反撃能力」(敵基地攻撃能力)の保有。「5年で43兆円」という大軍拡。大軍拡のために国民への大増税と福祉切り捨て。これを岸田内閣は強行しようとしています。

日本の法律で規制できない原子炉をもつ米原子力空母とその「母港」横須賀。事故が起これば首都圏3000万人の命と暮らしを直撃する事態になりかねません。

「空母はいらない」「軍備拡大をやめ、国民の暮らしを守れ」の世論と行動を大きくしましょう。

※集会後にデモ行進(出発予定4時)を行います。

